

第 2 回認知症対策地域連携推進会議 認知症ガイドブックについてのご意見

2016. 01. 07

項	意見	対応(方向性)
全体構成	各項の見出し(ネーミング)の統一・工夫わかりやすく	統一しました
全体構成	〇〇の状態だけど、具体的にどこへ相談したらよいかをわかりやすい内容へ(「名古屋市しおり」を参考に)	状態別に、利用できるサービスがわかるように修正しました
表紙	男女の服の色等のバランス	変更しました
P. 3	「想い」⇒「思い」? 違和感がある	むすびあい手帳の内容と統一し、「想い」で記載
P. 4	興味にも関心がなくなった⇒表現がおかしい	訂正しました
P. 5	理由①「認知症ではないのに…」⇒表現は適切ではない	訂正しました
P. 5	理由②「多くの場合」⇒削除へ	削除しました
P. 5	理由③ 追加(落ち着いた時間をより長く過ごせる・サービスを受けるための準備ができる)	追加いたしました
P. 5	「高度な医療機器による検査を受けることが…」 ⇒表現を検討	修正しました
P. 6～7	「5年前後で…」⇒記載不要なのではないか	削除しました
P. 6～7	「初期の日常生活は自立」⇒状態としては、ありえない	削除しました
P. 6～7	本人の様子例⇒ 周辺症状と中核症状が混在しているすみわけ必要	中核症状と行動心理症状に分け、記載しました
P. 6～7	軽度認知症障害の注釈⇒もの忘れのみの定義ではない	修正しました
P. 6～7	家族の心構え⇒中期 「介護者自身が…」意味不明	「本人・家族向けアドバイス」として、内容を追加しました
P. 6～7	家族の心構え⇒後期 「どのような終末期…」の文言を初期の段階にも必要か	
P. 6～7	家族の心構え⇒後期 「終末期」表記方法検討	
P. 8～9	成年後見制度⇒生活支援・見守りの区分ではない	修正しました
P. 8～9	精神科救急医療の当番病院の追加は必要ではないか	「専門医療機関」と記載し、「精神科」等を記載しました
P. 10～12	説明項目毎に境界線があった方が見やすい	修正しました
P. 10～12	「高齢者向け住宅」の説明⇒具体的に	サービス内容より、削除しました
P. 10～12	公的サービス・その他の支援に分ける必要ないのでは	修正しました
P10～12	P8～9サービス種類の色分けを統一した方が良い	サービスごとに統一しました
P. 14	「日頃から…」⇒目立つように大きく	修正しました
P. 14	法人名は必要ないのではないか	削除しました
P. 14	問い合わせ一覧があるにもかかわらず、このページにだけ連絡先がある⇒統一したほうがよいのではないか	統一しました

P. 15	医療の相談先の整理が必要ではないか	修正しました
P. 15	認知症相談医一覧は、必要なのか その他の医院（心療内科）は掲載しているのか	説明のみ記載し、一覧は市医師会ホームページアドレスを追加しました
P. 15	認知症医療概念図が必要ではないか	掲載しました
P. 16	目的⇒「認知症の早期発見・介護の…」は目的なのか 検討が必要である	むすびあい手帳の説明文章に統一しました
P. 17	成年後見制度⇒家族の負担増えるので、掲載しない方がよいのではないか	削除しました
P. 18	区別標記の白抜き文字が見にくい気がする	修正しました
P. 18	※24 時間相談受け付け⇒ 緊急時等の表現追加をできればお願いしたい	削除しました
その他	京都市のガイドブックを参考にしてほしい	参考にさせていただきました